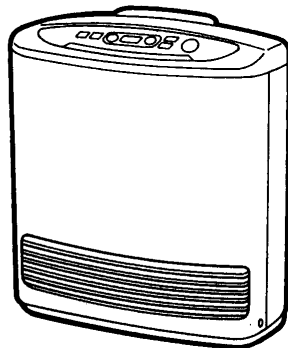
ガスファンヒーター
43-558型

型式名　GFH-935E

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスファンヒーターをお買い上げいただきありがとうございました。ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合せください。また、別途の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

●換気にご注意

この機器は、強制給排気式(ＦＦ式)ではありませんので換気が必要です。

取扱説明書

もくじ

印刷ナンバー
7311920

販売店の方へ
●機器の設置が終わり、お客様へ使い方を説明されましたら、この取扱説明書をお渡しください。
お客様へ
●この取扱説明書を紛失されたときには、機器の製造年月を確かめ、同じ印刷ナンバーの取扱説明書を再購入してください。

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添　大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。

●長年ご使用のガスファンヒーターの点検を！

●ガスファンヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後、7年です。

こんな症状はありませんか	●機器の周辺で、ガスのにおいがする。 ●異常な燃焼をする。 ●異常な音がする。 ●異常な温度を感じる。 ●点火しない。 ●その他の異常や故障がある。	▶	使用中止	事故や故障の防止のため必ずお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガスに点検をご相談ください。

おねがい　ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガスに連絡してください。

73164120192000

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですのでよくお読みのうえ、必ずお守りください。

●絵表示について

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品では、いろいろな絵表示をしています。

必ず行う

回転物注意

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じる場合が想定されることを表しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

ガス漏れ時使用厳禁(ガス漏れ時の処置)

●ガス漏れに気付いたときは、ガス事業者(供給業者)の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

❶ すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓から接続具をはずす。)

↓

❷ 窓や戸を開けガスを外へ出す。

↓

❸ もよりの大阪ガスに連絡する。

使用ガス〔及び使用電源〕について

●機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)及び電源(電圧・周波数)を確認する。
表示のガス種及び電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火や機器が故障することがあります。

●特に転居した場合は、必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうかを確認する。

●わからない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡する。

銘板（例 13A用）

●製造年月は、製造番号に表示されています。
例：00・XX－012345では、「00・XX」が○年×月を表しています。

ガス接続(ガス事故防止)

●必ず指定の専用ガスコードを使用する。（7ページ）
●一般のガスコードについているスリムプラグは絶対に取り付けない。
●また一般のガス用ゴム管は使用できません。
●間違えるとガス漏れや火災の原因になります。

換気必要！

●しめきった部屋で使用する場合は、1時間に1回、1分間程度換気する。
長時間の使用は空気中の酸素が減少して不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

火災予防(火災注意)

●機器の上や周囲には燃えやすいものを置かない。
火災の原因になります。

●可燃物(家具、カーテン、洗濯物など)を機器に近づけない。
火災の原因になります。

●機器の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを使用しない。
引火して火災のおそれがあります。

●温風吹出口やエアフィルターに紙、布、異物などを入れたり、開口部をふさいだりしない。
こげて臭がしたり、温風の吹き出しや空気の吸い込みが阻害されて、異常過熱し火災のおそれがあります。

●火をつけたまま就寝(タイマー運転の場合を除く)や外出は絶対にしない。
火災の原因になります。

●スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しない。
熱でスプレー缶内の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。

低温やけどに注意

●温風の直接あたる場所で就寝しない。
低温風でも連続的にあたると低温やけどの原因になります。
特に次のような方が使用する場合は周りの人が注意してあげる事が必要です。
●乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で身体を動かせない方
●疲労の激しいとき・深酒したとき
●皮膚の弱い方

温風を長時間直接身体に当てない

●体調悪化や健康障害の原因になります。

異常時の措置

〈使用中の異常、途中消火する場合〉

❶ 点火しない場合、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、または使用途中で消火する場合はただちに使用を中止しガス栓を閉じる。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓から接続具をはずす。)

❷ 故障異常の見分け方と処置方法(21～24ページ)に従い処置をする。

❸ 上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡する。

〈地震、火災などの緊急の場合〉

●地震、火災などの緊急の場合は、迅速に使用を中止しガス栓を閉じる。(つまみのないガス栓の場合は、ガス栓から接続具をはずす。)

分解禁止

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
異常作動してけがの原因になります。

分解禁止

安全に正しくお使いいただくために

一般的な注意
一般的な禁止
必ず行う
分解禁止
回転物注意
ぬれ手禁止
電源プラグを抜け

⚠ 注 意

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

火災予防

● 火のついたまま持ち運ばない。ガスコードが抜けたり折れたりして、ガス漏れや異常燃焼の原因になります。またやけどのおそれもあります。

● 棚の下など、落下物のおそれのあるところでは使用しない。火災のおそれがあります。

やけどに注意

● 使用中や使用直後は、温風吹出口は高温になっているので手を触れない。やけどのおそれがあります。

● 使用中、停電により機器が停電したり、誤って電源プラグを抜いて機器が停止したときは、機器の後面(エアフィルターやとって部分)が高温になっているので手を触れない。やけどのおそれがあります。

● 機器の上に乗ったり、腰かけたりしない。機器の故障ややけどのおそれがあります。

回転物注意

● 機器の温風吹出口に棒をいれたりふさいだりしない。対流ファンが高速で回転しているのでけがをするおそれがあります。

回転物注意

けがに注意

● 温風吹出口や空気吸込口などに指をいれない。端面などでけがをするおそれがあります。

スプレーを使用する場所での使用禁止

● フロンガスや塩素系溶剤は腐食性ガスの発生により金属がさびたり、健康を害したり、また機器故障の原因になります。

電気事故防止

● 電源コードを切断して延長はしない。機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲としてください。火災などの原因になります。

● 電源プラグの抜き差しによる運転・停止はしない。機器の過熱のもとになります。

● 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。

● 電源プラグはときどきほこりをきれいに拭きとる。長期間放置するとほこりなどによりプラグ発火の原因になります。

● たこ足配線はしない。コンセントが過熱され発火の原因になります。

● ぬれた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

● 電源コードを引っぱってプラグを抜かない。断線して発熱や発火の原因になります。

設置場所(使用場所)

● ドアの近くに置かない。機器の転倒や、やけどのおそれがあります。

● 毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、安定のよい板を敷いて水平にする。じかにじゅうたんの上に置くとじゅうたんが変色する場合があります。

● 樹脂製の照明器具の下には置かない。照明器具のかさなどが変形することがあります。

● 電気カーペット・温水マットの上には置かない。重みで電気カーペット、温水マットの故障の原因になります。

● 温室・動植物の飼育室など、特殊な場所には置かない。植物が枯れたり、動物が死亡することがあります。

● 水のかかる場所には置かない。また機器の上に水槽などを置かない。水がかかると漏電のおそれがあります。

● 温風吹出口の前にギャラリ(格子)を取付けない。温度調節が正しく行われず火災の原因になります。

周囲の防火措置

● 家具や壁・棚など可燃性の部分からじゅうぶん離して設置してください。

安全に正しくお使いいただくために

お願い

運転停止時の注意

●電源プラグをコンセントから抜く場合は、対流ファンが停止してからにしてください。
対流ファンが停止する前に抜くと機器が異常過熱し故障の原因になります。

家庭用として使用

●この製品は家庭用ですので、業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。

点火・消火の確認

●使用時の点火・使用後の消火を確認してください。

雷時の注意

●雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

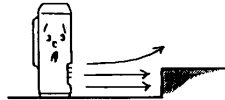
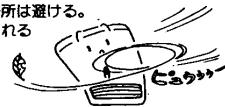
電源プラグを抜け

シリコン入りスプレー使用禁止

●近くで枝毛コート剤などシリコンの入ったスプレーなどを使わないでください。
不完全燃焼防止装置が故障する原因になります。

設置場所(使用場所)

●強い風の吹き込む所は避ける。
炎が風で吹き消される事があります。

●機器は水平な所(確実に設置できる所)に設置して使用する。
●段差のある床面に置かない。
温風があたる部分が変色するおそれがあります。

気密性の高い部屋での使用

●この機器は室内燃焼機器のため、気密性の高い部屋などでは、壁や天井が結露する場合があります。換気など使用にはじゅうぶんに注意してください。

点検・お手入れ

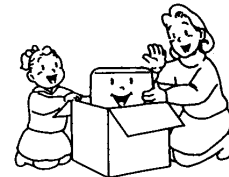
●日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
●故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。
●故障したときは、お買い上げになった販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
●点検・お手入れの際には必ずガス栓を閉じ、電源プラグを抜き機器が冷えてから行ってください。
●お手入れが必要なところ以外は絶対に分解しないでください。
●お手入れの際、指先にはじゅうぶん注意してください。
●1ヵ月に1回以上は、温風吹出口のほこりを電気掃除機などで掃除してください。この場合、必ず対流ファンが止まってから行ってください。

●またお掃除の際、温風吹出口のルーバーを強く押さえたり、衝撃を加えたりしますとルーバーが折れたり曲がったりして、温風の方向が変わり、床(カーペットなど)が変色することがありますので注意してください。

長期間使用しない場合(保管)

●電源プラグをコンセントから抜いてください。

●お部屋のガス栓を閉じ、ガスコードをお部屋のガス栓からはずし、お部屋のガス接続口にキャップをかぶせてください。特にガス通路部分に、ほこりが入って通路を詰らせないように機器のガス接続部やガスコードには、必ずキャップをしてください。

●機器はお買い上げになったときの箱の中に正しく入れ、湿気の少ない所へ保管してください。ベランダなどの直射日光の当たる場所や高温になるところでの保管は樹脂部分の変色や変形のおそれがあります。

サービスを依頼されるとき

●サービスを依頼される前に21~24ページの「故障かな?と思ったら」と「安全装置が作動したときの処置方法」をもう一度確認してください。
それでも不具合な場合あるいはご不明の場合は、ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
●アフターサービスをお申し付けのときは、次のことを連絡してください。(26ページ)

1. 品名:ガスファンヒーター
2. 機種:43-558
3. 故障の状況(故障表示などできるだけ詳しく)
4. お名前、住所、電話番号
5. 道順(付近の目印など)
6. 訪問ご希望日

転居されるとき

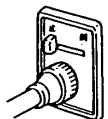
●ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要になります。必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに連絡ください。

●ガスの種類によっては使用できない場合もあります。

異常時の処置

ご使用中に変な臭や異常音がするなどふだんと違った状態になったときや、不具合が生じたときは、あわてず次の処置をし、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに連絡してください。

❶ 運転スイッチを切る。

❷ ガス栓を閉じる。

つまみのないガス栓の場合は、ガス栓から接続具をはずす。

❸ もよりの大阪ガスへ連絡する。

ガスの接続

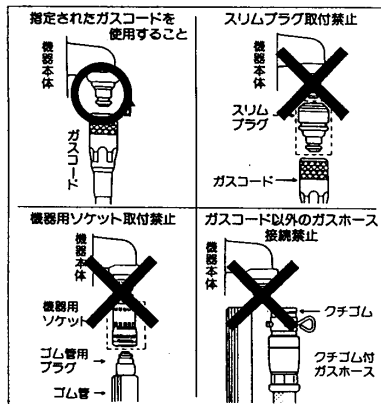
- ガスの接続は、必ず大阪ガス指定のガスコードを使用してください。
- 機器にはスリムプラグが組み込まれています。一般のガスコードについているスリムプラグは絶対に取付けないでください。
- カチット（機器用ソケット）は、絶対に取付けないでください。
- 一般のガス用ゴム管やビニール管は使用できません。
- ガス接続口のキャップは大切に保存してください。

（20ページ）

指定されたガスコードを使用すること
機器本体
ガスコード

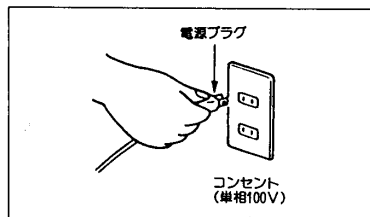
スリムプラグ取付禁止
機器本体
スリムプラグ
ガスコード

機器用ソケット取付禁止
機器本体
機器用ソケット
ゴム管用プラグ
ゴム管

ガスコード以外のガスホース接続禁止
機器本体
クチゴム
クチゴム付ガスホース

●ガスコードは

- 継ぎたしなどはしないでください。
- 機器に触れたり、機器の下を通したりしないでください。
- 他の部屋まで延長したり、壁、天井などを通したりしないでください。
- 機器への取付けにおいてご不明の場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガスにご連絡ください。

電源の接続

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

各部の名称とはたらき

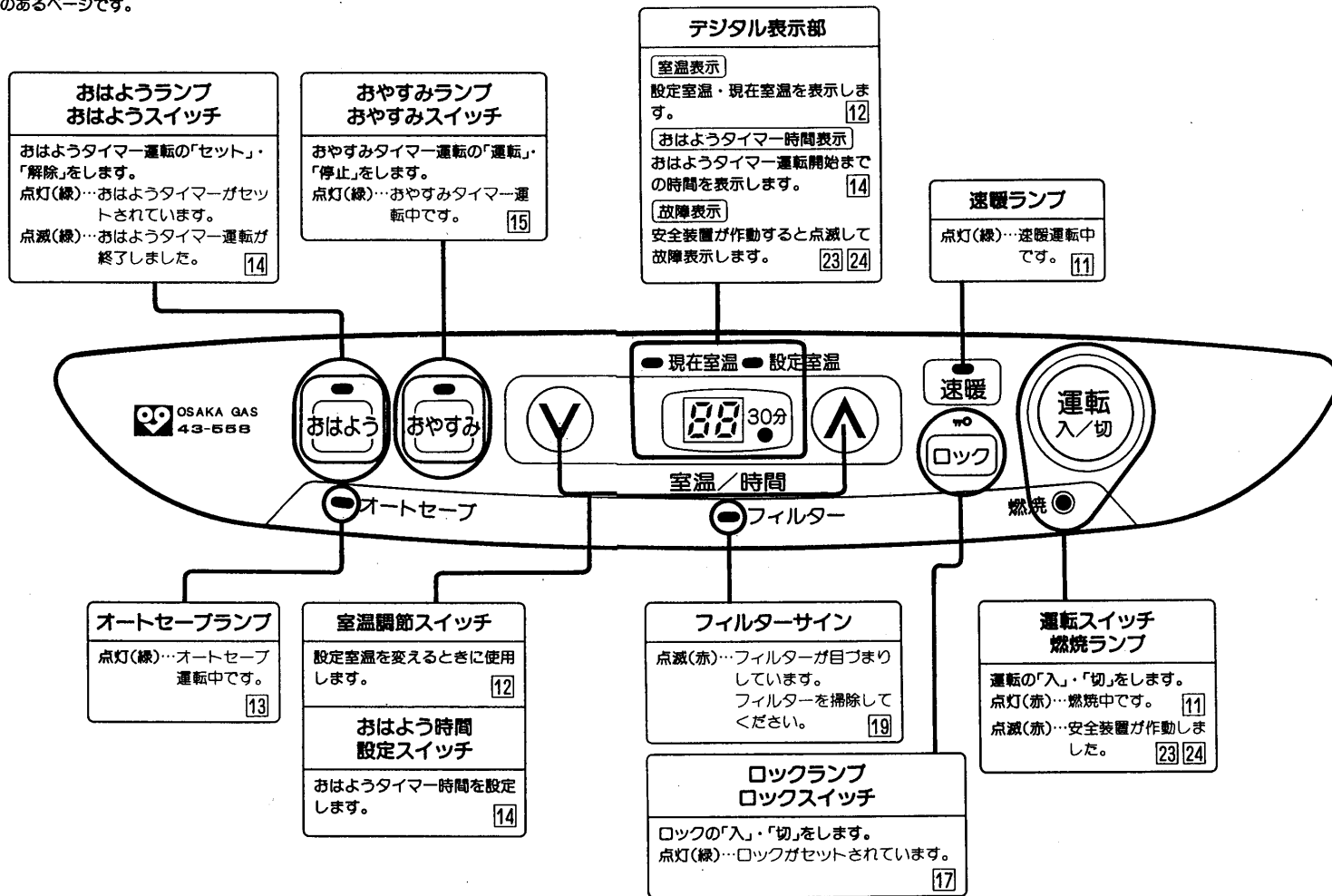
●外観図　□の数字は、説明のあるページです。

〔正面〕

〔背面〕

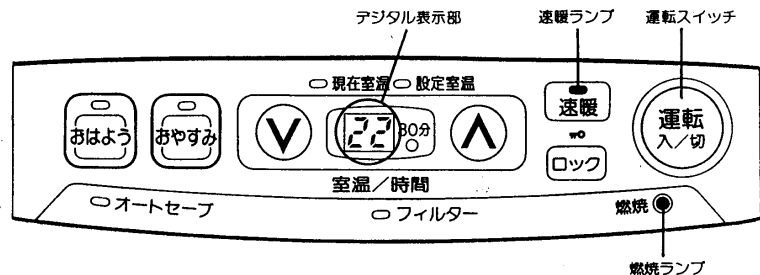
各部の名称とはたらき

●操作・表示部

※図は説明のため、すべてを表示させた状態にしてあります。実際は該当部のみ表示します。
□の数字は、説明のあるページです。

使用方法

初めてお使いになるときは

・ガスと電気が確実に接続されていることを確認したのち、
　お部屋のガス栓を全開にします。

運 転／停 止

運転のしかた

●(運転)スイッチを押して「入」にします。
・デジタル表示部が現在室温を表示し、点火すると燃焼ランプが点灯(赤)します。

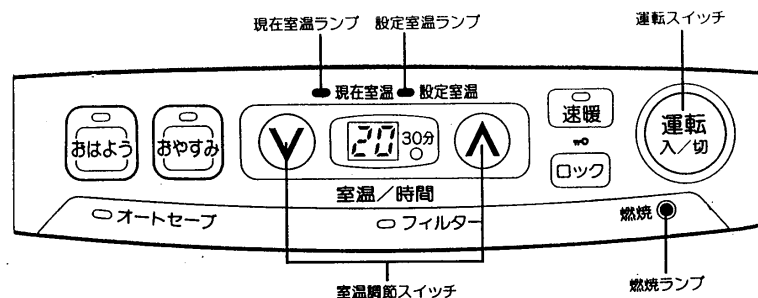
停止のしかた

●(運転)スイッチを押して「切」にします。
・燃焼ランプが消灯します。
・消火後もしばらく(約１～４分間)対流ファンが回ります。
　この間は絶対に電源プラグを抜かないでください。

速暖運転とは

●運転開始時に現在室温が設定室温より2℃以上低いとき、運転開始から60分以内に限って、自動的に強燃焼より大きな能力を出して運転します。　（速暖ランプ点灯）
●設定室温になったとき、または60分たつと通常の運転に変わります。　（速暖ランプ消灯）
●設定室温「L」「H」では速暖運転はしません。

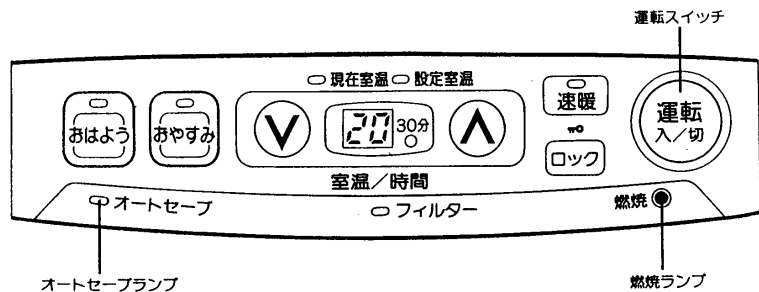
・初めて使うときや、しばらく使わなかったときなどガス管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この時は、再度運転操作をしてください。
・停止後すぐに再運転すると、運転を開始するまでの時間が通常にくらべて長くなります。
・短時間の間に運転・停止を何度も繰り返し行わないでください。機器が一時的に過熱し、フィルターサインが点滅したり、過熱防止装置が作動することがあります。
・運転中にお部屋のガス栓を閉めないでください。
・電源プラグをコンセントから抜いて消火することは絶対にやめてください。機器の異常過熱により、やけどのおそれがあります。また機器の寿命が短くなります。

室温調節　このファンヒーターはあらかじめ22℃に設定されています。

●(室温調節)スイッチを押してお好みの室温に設定します。
・室温調節スイッチを押すと設定室温ランプが点灯(緑)デジタル表示部に現在の設定室温を表示します。
　「 V 」……室温を下げたいとき。
　「 Λ 」……室温を上げたいとき。

設定室温の表示内容	
表　示	L、16、17…………25、26、H
めやすの室温(℃)	L、16、17…………25、26、H
現在室温の表示内容	
表　示	L、1、2…………38、39、H
めやすの室温(℃)	0℃以下　40℃以上

・設定室温のL表示…連続弱燃焼します。
・設定室温のH表示…連続強燃焼します。

・設定が終わると、約10秒後に現在室温ランプが点灯(緑)し、現在室温を表示します。
●設定室温を知りたいときは、室温調節スイッチの「V」・「Λ」どちらかを１回押してください。
　10秒間設定室温を表示します。

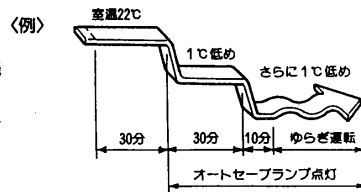
・現在室温はめやすにしてください。(現在室温は機器内部の感温部の温度です。)
・設定室温は運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
・部屋の構造、設置場所、外気温によっては設定室温以上に現在室温が上がることがあります。このときは、運転スイッチを「切」にしてください。
・運転開始時や、消火後に再運転する場合、１～２分ぐらいは現在室温が高く表示されることがあります。
・外気温が特に低いときや、長時間ご使用のときは、窓ガラスや壁などに水滴がつくことがあります。

オートセーブ運転

オートセーブ運転とは

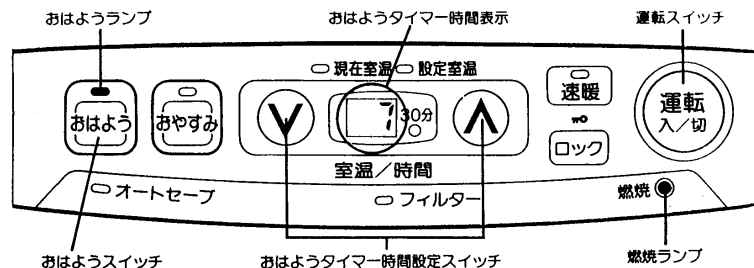
- 部屋の壁や天井が暖まると同じ室温でも暖かく感じます。そこで、暖めすぎによる不快感の防止や省エネのために体感温度を変えずに設定室温を自動的に下げて運転する機能です。（オートセーブランプ点灯）
- また、オートセーブランプが点灯中に室温調節スイッチを押して設定室温を「L」か「H」にするとオートセーブ運転は解除されます。（オートセーブランプ消灯）

ゆらぎ運転

- 風量を変化させ、お部屋の温度を均一にする機能です。
- オートセーブランプが点灯してから、40分後にゆらぎ運転を開始します。

〈例〉

※設定室温の表示はオートセーブ運転をしても変わりません。

- 部屋の構造、設置場所、外気温などによっては現在室温が設定室温まで上がらず、オートセーブ運転をしないことがあります。
- 部屋が小さすぎたり、外気温が高い場合は、現在室温が設定室温以上に上がることがあります。
- 設定温度を「L」や「H」にした場合は、オートセーブ運転はしません。

おはようタイマー運転　設定時間（何時間）後に運転を開始する機能です。

おはようタイマー運転のセットのしかた

● おはよう スイッチを押します。

- おはようランプが点灯（緑）し、暖房開始時までの時間を表示します。
- 燃焼運転中に押すと、運転が停止します。

運転開始から1時間で自動消火します

- おはようタイマーで運転を開始した場合は、約1時間で自動消火します。（このとき、おはようランプが点滅します。）

おはようタイマー時間の合せかた

● 今から何時間後に運転を開始させるか、30分～24時間の間で30分刻みで設定できます。

- 初めてお使いになる時には、7時間30分にセットされています。

● おはようタイマー時間のセットのしかた

①おはようスイッチを押します。おはようランプが点灯（緑）します。
②おはよう時間設定スイッチの「V」・「Λ」のどちらかを押して希望の時間に合せます。
- 「V」を押すと時間は30分減り、「Λ」を押すと30分増えます。

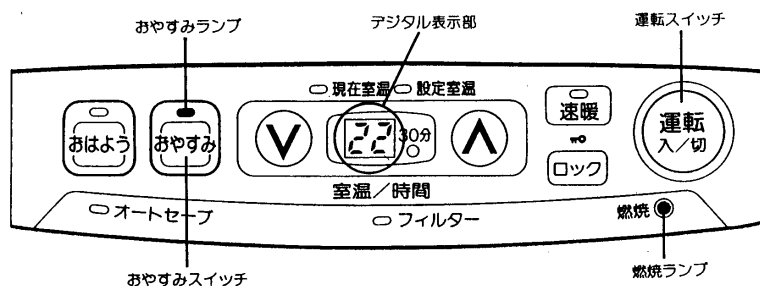
おはようタイマー運転を中止する場合

- おはようスイッチを再度押すか、運転スイッチを「切」にしてください。
- 自動消火し、おはようランプが点滅していたら、運転スイッチで「切」にしてください。

おはようタイマーセット後に停電になったとき

- おはようタイマー運転開始前に電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、再通電してもおはようタイマー運転は開始されません。再度セットしなおしてください。

使用方法

おやすみタイマー運転　1時間後、自動的に運転を停止する機能です。

セットの方法

●(おやすみ) スイッチを押します。

- おやすみランプが点灯(緑)します。
  デジタル表示部が現在室温を表示し、点火すると燃焼ランプが点灯(赤)しておやすみタイマー運転を開始します。

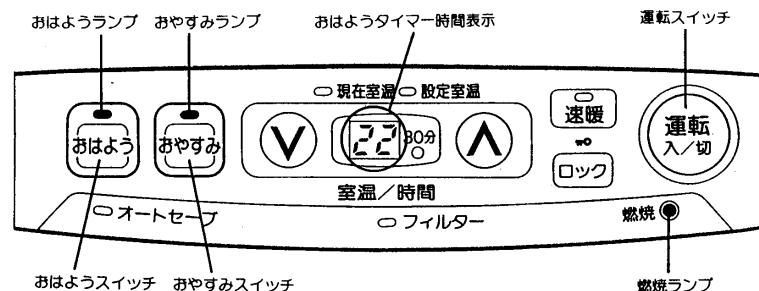
停止の方法

●(運転) スイッチか (おやすみ) スイッチを押して「切」にします。

- おやすみランプが消灯しおやすみタイマー運転が停止します。

1時間後に自動的に暖房運転を停止します。

- おやすみになるときは、タイマー運転以外では使用しないでください。

おやすみとおはようの組合せタイマー運転

①(おやすみ) スイッチを押して、おやすみタイマー運転をセットします。

- おやすみランプが点灯(緑)し、おやすみタイマー運転を開始します。

②(おはよう) スイッチを押して、おはようタイマー運転をセットします。

- おはようランプが点灯(緑)し、デジタル表示部におはようタイマー時間を約10秒間表示します。

①②の操作は逆でも組合せタイマー運転がセットできます。

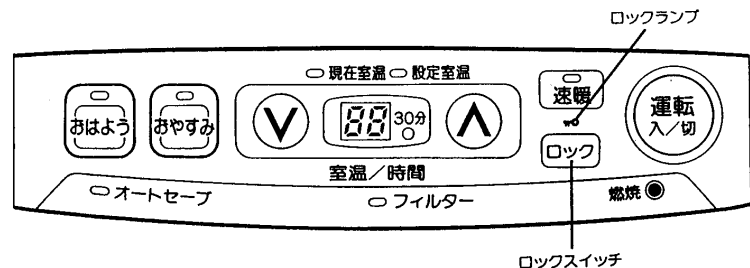
動　作

- おやすみ運転は1時間で自動的に燃焼運転を停止します。
- おはようタイマー運転は運転開始時間に達すると、燃焼を1時間行ない自動的に燃焼運転を停止させます。

停　止

- 運転スイッチを押すと、おやすみタイマー運転とおはようタイマー運転が同時に停止します。
- おはようスイッチまたはおやすみスイッチを押すと、スイッチを押した運転だけが停止します。

ロック

ロックしておけば、操作スイッチに触れても作動はしませんので、
小さなお子様のいたずらや誤操作を防止します。

●(ロック)スイッチを(約１秒間)押します。
・ロックランプが点灯(緑)します。

運転中にロックしたとき ……運転スイッチの「切」だけできます。

運転停止中と、おはようタイマー運転のみがセット されているときにロックしたとき ……すべての操作ができません。

解除するとき

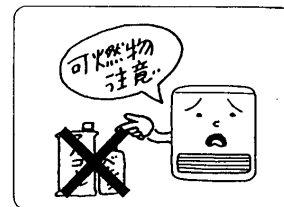
●もう一度(ロック)スイッチを(約１秒間)押します。
・ロックランプが消灯します。

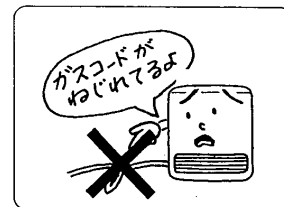
日常の点検とお手入れ

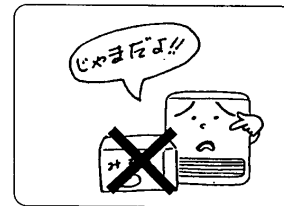
点　検

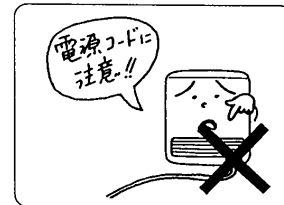
安全にお使いいただくため、点検は定期的に行ってください。

① 可燃物の注意

・機器の周囲や、温風吹出口の付近に燃えやすいものがないか点検してください。

② ガスコードの接続

・ガスコードが正しく接続されているか点検してください。
・ガスコードが折れたり、ねじれたりしていないか点検してください。

③ エアフィルターの点検

・エアフィルターにほこりがつまっていないか点検してください。

④ 温風吹出口の点検

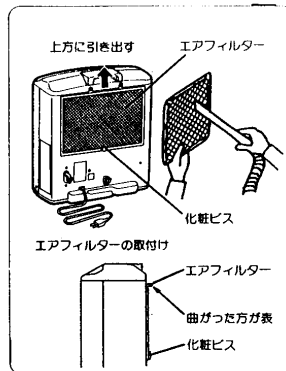
・温風吹出口の前方に障害物がないか点検してください。

⑤ 電源コードの点検

・電源コードが機器の下じきになっていたり、コードがいたんでいないか点検してください。

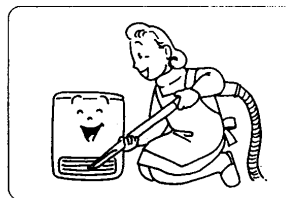
お手入れ　（電源プラグをコンセントから抜くこと。）

1 エアフィルターの掃除

●フィルターサインが点滅したら、エアフィルターの掃除をしてください。

1. 化粧ビスを取りエアフィルターを上方に引き出してください。
2. 電気掃除機などでエアフィルターの表・裏を掃除してください。
3. 汚れのひどいときは、台所用中性洗剤(食器洗い用)を約10倍に薄め、布にふくませてふきとった後、水ぶきしてください。その後、必ず乾燥させてから取付けてください。

フィルターサインが点滅しなくても１ケ月に１回程度は掃除をしてください。

2 温風吹出口のお手入れ

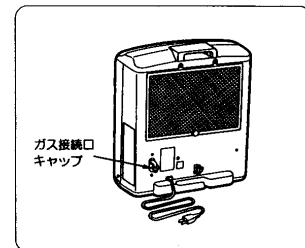
・１ケ月に１回以上は、温風吹出口のほこりを電気掃除機などで掃除してください。この場合、必ず対流ファンが止まってから行ってください。
・温風吹出口に白い粉が付着することがありますが、異常ではありません。やわらかい布でふき取ってください。

3 機器本体のお手入れ

・やわらかい布をぬるま湯にひたし、よくしぼってから拭いてください。

・電源プラグをコンセントから抜く場合は、必ず機器の冷えているときに行ってください。
・機器内部は絶対に分解しないでください。
・化学ぞうきんやベンジン・シンナーなどは、絶対に使用しないでください。
　塗装の色があせたり、樹脂の部品が変色したりします。

長期間使用しない場合

保管のしかた

・長期間保管しておく場合は、お部屋のガス栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、ガスコードを取りはずしてください。
・ガス接続口にゴミやほこりが入らないように、ガス接続口キャップをしてください。
・お手入れを行って、お買い上げになったときの外装箱などに入れ、湿気やほこりの少ない場所に保管してください。
・直射日光のあたる場所や高温になるところでの保管は、避けてください。変色や変形のおそれがあります。

故障かな?と思ったら

次のことを調べてください

故障かな?と思ってもよく調べてみると故障でない場合もあります。
修理に出す前にもう一度、下の表で調べてください。

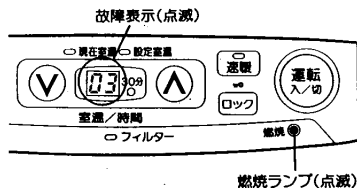
原因 ＼ 現象	運転スイッチを押しても作動しない。	点火しにくい。点火しない。	ガスのにおいがする。	使用中に消火する。	異常な音をたてる。	部屋の暖まりが悪い。	処置方法	参照ページ
電源プラグを差し込んでいない。	●	●					電源プラグを確実に差し込む。	7
ガス栓の開き忘れ・開き不十分。		●	●	●		●	ガス栓を全開にする。	11
ガスコード内に空気が残っている。		●	●				運転操作をくりかえす。	11
ガスコードの接続不完全。		●	●	●			確実に接続する。	7
ガスの種類が違う。		●	●	●	●	●	本体背面の銘板を確認する。	1
ガスコードが長すぎる。 ガスコードの折れ曲がり・つぶれ。		●	●	●	●	●	不具合を取りのぞき再点火する。	7
ガスコードのひび割れ・穴あき。			●	●			ガスコードを交換する。	7
換気が不十分である。				●			1時間に1回、1分程度換気をする。	1
室温調節が「L」になっている。						●	室温調節を高くする。	12
エアフィルターがつまっている。 温風吹出口に障害物がある。			●	●	●	●	日常の点検・手入れをする。 障害物を取りのぞき再点火をする。	18 19
点火(燃焼を開始)したばかりである。			●				点火時、少しにおうことがあります。	22
安全装置が作動した。	●	●		●	●	●	「安全装置が作動したときの処置方法」にしたがってください。	23 24

●処置方法や原因のわからないときは、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガスにご連絡ください。

次の場合は故障ではありません

現象	原因と対応
シーズン始めや長期間運転しなかった後、なかなか点火しない。	ガスコード内に空気が入っているためです。燃焼ランプがつくまで運転操作を繰り返してください。
初めて運転したときに、煙やにおいがでる。	機器内部に付着している油やほこりが焼けるためです。しばらく換気しながら運転すると、においがとれます。
初めて運転したときや、ガスコードを交換した後、点火初期に「ピー」と音がする。	メーンバーナーが一時的に空気過剰となり、起こる音です。
点火したときに「ポッ」という音がする。	点火の際の着火音です。
運転停止後に「チリチリ」と音がする。	メーンバーナーが熱により、膨張、収縮して起こる音です。
運転中に「シャー」と音がする。	ガスの通過音です。
運転スイッチを「切」にしても、すぐに温風が止まらない。	機器内の温度が低くなるまで対流ファンが回転してから自動的に止まります。
電源プラグを入れなおした時、対流ファンがまわる。	機器内の温度が低くなるまで対流ファンが回転してから自動的に止まります。
停止後、再度運転操作をしてもすぐに点火しない。	機器内が冷えるまで対流ファンが回転してから自動的に点火します。
誤って電源プラグを抜いたため、すぐ差し込んで運転操作をしたが点火しない。	機器内が冷えるまで対流ファンが回転してから自動的に点火します。
電源プラグをコンセントに差し込んだ直後、運転スイッチを「入」にしても運転しない。	マイコンチェックのため機器が作動するまでに約1秒かかります。

安全装置が作動したときの処置方法

●安全装置が作動すると、燃焼ランプ(赤)の点滅と、故障表示の点滅でお知らせします。

故障表示	原因	安全装置 装置の作動	処置方法
01	・電源周波数の異常。 ・電源にノイズが入った。	**電源周波数検知装置** ・電源の周波数が正常でないとき。	電源プラグを一度抜いて、再び差し込んで、運転操作をしてください。
03	・燃焼中に移動させた。 ・機器に衝撃をあたえた。 ・機器が転倒した。	**転倒時ガス遮断装置** ・機器が転倒したり、強い衝撃が加わったとき。	機器を正しく設置してから運転操作をしてください。
11	・部屋のガス栓が開いていないか、開きたりない。 ・ガスコード内に空気が入っていた。 ・ヒューズガス栓が作動した。	**立消え安全装置** ・点火ミスで生ガスがでたとき。	原因を点検後、運転操作をしてください。
12	・閉め切った部屋で長時間使用した。 ・エアフィルターが目づまりした。	**不完全燃焼防止装置** ・不完全燃焼しそうになったとき。	部屋を換気したり、エアフィルターの掃除をしてください。
	・ガスコードを踏んだ。 ・部屋のガス栓が開きたりない。	**立消え安全装置** ・使用中に消火し、生ガスがでたとき。	じゅうぶんに部屋の換気を行い、エアフィルターの掃除を行った後運転操作をしてください。
14	・エアフィルターが目づまりしている。 ・温風吹出口に障害物がある。	**過熱防止装置（サーミスター）** ・機器が異常過熱したとき。	エアフィルターの掃除や、障害物を取り除いた後、5～6分してから運転操作をしてください。（対流ファン回転中は、電源プラグを抜かないでください。）
	・異常過熱状態になった。	**過熱防止装置（温度ヒューズ）** ・機器が異常過熱したとき。	修理が必要ですので、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

故障表示	原因	安全装置 装置の作動	処置方法
16	・室温が高い。 ・機器の能力に対して部屋がせまい。 ・エアフィルターが目づまりしている。 ・室温サーミスターに異常がおこった。	**室温上昇防止装置** ・室温が40℃以上の状態が10分間以上続いたとき。	運転を停止し、現在室温が下がってから、運転操作をしてください。エアフィルターが目づまりをしているときは掃除してください。
		室温サーミスター安全装置 ・室温サーミスターに断線などがあったとき。	修理が必要ですので、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
31	・室温サーミスターに異常がおこった。		
33	・過熱防止サーミスターに異常がおこった。	**過熱防止サーミスター安全装置**	
62	・対流ファンに異物が入って回転が止まった。 ・対流ファンの回転数が低くなった。	**ファン回転検出装置** ・対流ファンの回転数が異常に低くなり、機器が過熱しそうになったとき。	電源プラグを抜いて、対流ファンの異物などを取り除いた後、運転操作をしてください。
70	・運転・おはよう・おやすみスイッチが押したままになっている。	**運転スイッチ安全装置** ・運転・おはよう・おやすみスイッチを約5秒以上押し続けたとき。	原因を点検後、運転操作をしてください。
71	・電磁弁回路に異常がおこった。	**電磁弁安全装置**	修理が必要ですので、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
72	・運転中に停電したり、電源プラグを抜いた直後、運転操作をした。	**初期チェック装置** ・トラブルにより消火したとき。	2～3分待ってから、運転操作をしてください。
73	・ガス種切替データが正しく読み取れない。	**ガス種切替データ検出装置**	修理が必要ですので、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

処置してもたびたび同じ故障表示がでる場合は、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガスにご連絡ください。

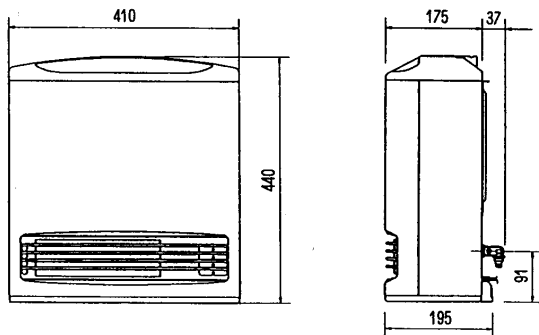
仕様・寸法図

仕　様

機種	43-558	
型式名	GFH-935E	
ガス種	都市ガス　13A	LPガス
ガス消費量　kW	速暖 4.07／強 3.49～弱 0.70 (3,500／3,000～600)kcal/h	速暖 4.07／強 3.49～弱 0.75 (0.29／0.25～0.054)kg/h
暖房のめやす	木造10畳まで・コンクリート14畳まで	
外形寸法(mm) (幅×奥行×高さ)	410×175(ベース 195)×440	
質量(kg)	7.7	
電気消費量(W)	(速暖)29／(強)28／(弱)20（コンセント差し込み時 約5W）	
接続　ガス	ガスコード	
接続　電源	AC100V･50/60Hz（電源コード長さ2m）	
燃焼方式	ブンゼン燃焼方式	
給排気方式	開放式	
放熱方式	強制対流式	
点火方式	連続放電点火式	
安全装置	不完全燃焼防止装置、立消え安全装置、 過熱防止装置（温度ヒューズ・サーミスター） 転倒時ガス遮断装置、過電流防止装置（電流ヒューズ）	

寸法図

（単位mm）

アフターサービスについて

サービスのお申し込み

- 23～24の「安全装置が作動したときの処置方法」および21～22の「故障かな?と思ったら」を見てもう一度、確認してください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガスにご連絡ください。

●連絡していただきたい内容

1）品名：ガスファンヒーター
2）機種：43-558
3）故障の状況（故障表示などできるだけ詳しく）
4）お名前、住所、電話番号
5）道順（付近の目印など）
6）訪問のご希望日

（例）

大阪ガス株式会社01

点検整備のおすすめ（有料）

- 安全快適に、ご使用いただくために定期的に（3シーズンに1回程度）点検整備を受けられることをおすすめします。
- 点検整備は、ガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガスにお申し付けください。

転居される場合

ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区別があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガスにご相談ください。
  この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
  ただし、ガスの種類によっては調整・改造ができない場合があります。

保証・補修について

この機器には保証書がついています。

- 保証書に記載のように、機器の故障について修理します。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保存してください。

補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後7年です。

- 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この機器の修理用性能部品(機能を維持するための必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後7年間です。
- ただし、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。